



先生は…
ケーキが大好き!
打合せの際には、いつも目にも楽しい色鮮やかなケーキを注文されています。

ウインでカタコンベ(地下墓地)の発見に遭遇したエリカとクロロク。ところが、埋葬されていた大量の白骨が一晩で消えてしまった!?

「吸血鬼と栄光の椅子」収録



「青きドナウの吸血鬼」収録
クロロクの仕事に便乗しヨーロッパ旅行に出かけたエリカだが、空港で機関銃の襲撃を受けた。「美しく青きドナウ」の旋律にのって、父娘の推理が冴える!

青きドナウの吸血鬼

シリーズは読み切り中心ですが、『青きドナウの吸血鬼』と続編『吸血鬼と花嫁の宴』は続きモノで、エリカ達の活躍をたっぷり堪能できます。吸血鬼の本場、ヨーロッパでのクロロクは最高にカッコいい!!

2代目担当より
大好きなシリーズだったので、初めて生原稿をいただいた時は大感激! 毎年開かれるファンの集いで、一人一人のファンを大切にされる先生の姿勢にも感銘を受けました。

特別企画 歴代担当編集のイチ押しを集めました! おすすめエピソード集

30年を超える歴史のなかで、歴代の担当編集がおすすめる必読! ストーリーと、当時の面白エピソードを大公開します!



永すぎた冬

「吸血鬼はお年ごろ」収録

夏季合宿中のテニス部員6人が惨殺。犠牲者の傷から吸血鬼の仕業と噂が流れる。吸血鬼の父をもつ女子高生エリカが、真相解明に乗り出すのだが…!

ここがおすすめ!

シリアスタッチからコメディまで幅広く手掛ける赤川先生に、コバルトならではの物語を書いてもらおう!と依頼したところ、一人間と吸血鬼のハーフというヒロイン・エリカのアイデアが。初めて原稿を読んだ時、これは今までにない、新しい吸血鬼だ!と興奮したのを覚えています。

1代目担当より
シリーズ開始から15年ほど担当。僕と赤川先生は同い年なので一緒に作品を作ってきた戦友のような感覚です。先生はお酒を飲まれない代わりにたいへんグルメな方でした(笑)。

先生は…猫が大好き!
可愛いオス猫を飼われています。携帯に入った愛猫の写真を目撃しました。

吸血鬼は初恋の味

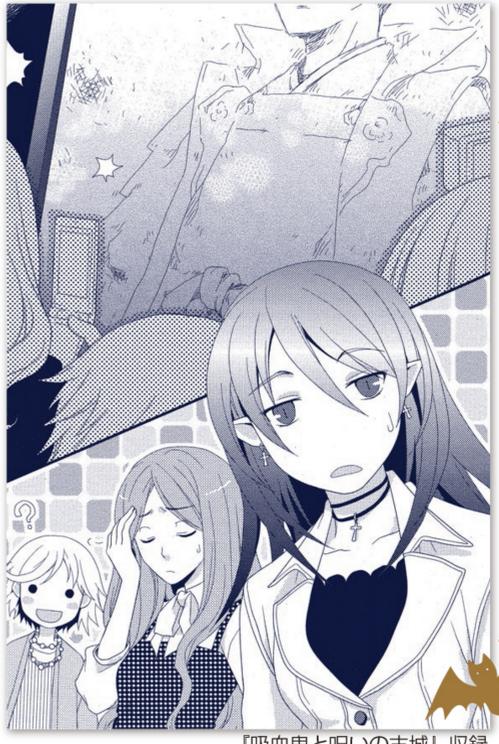
Story
エリカの友人・弥生の父が、突然離婚したいと言い出した。初恋のひとと人生をやり直すというのだが、同じような事件が他にも起こっていて?

ここがおすすめ!
印象に残っているのは『吸血鬼は初恋の味』。余命少ない男が初恋の人の幻を見て、家族を捨て彼女と一緒にしようとするのですが…人の心の隙間に潜む闇と、そこから立ち上がる人の強さの両方に痺れる1作です!



「ミス・吸血鬼に幸いあれ」収録

4代目担当より
『ミス・吸血鬼に幸いあれ』のカバーを長尾先生からいただいたところ、エリカが水着姿!「水着姿って大丈夫なんですか…?」と当時の編集長に相談するも一笑に付されました。懐かしい…



「吸血鬼と呪いの古城」収録

吸血鬼と呪いの古城

温泉旅行に出かけたエリカたち。安さで選んだバスツアーは、人気のTVドラマにはまった「歴史」たちでいっぱいだが、訪問地で奇妙な事件が起こって…!

5代目担当より
『吸血鬼ブランドはお好き?』から、イラストをひだかなみさんをお願いすることに。キャラクターデザイン画をいただいた時、クロロクの美貌&ダンディぶりに驚愕しました!

吸血鬼の出張手当

Story
仕事でドイツへ出張することになったクロロク。涼子の言いつけで、お目付け役(?)として同行することになったエリカだが…?

ここがおすすめ!
<死神>と呼ばれる女が、なぜ犯罪に手を染めるようになったのか…。父娘ドイツ出張のエピソードがコミカルに描かれながらも、現代社会の闇に切り込んだ印象的な作品。クロロクの悲観せず、鋭くも温かい視点に改めて気付かされます!!

6代目担当より
昨年の『赤川次郎展』では、改めてクロロクたちが、読者の皆さんに愛されていることを実感!他にも、先生の通信簿(とても優秀)などが展示されており、じっと鑑賞して参りました。

先生は…GO GO GO!
2013年、オリジナル著書が555冊に到達。そして今も、増え続けています。



「路地裏の吸血鬼」収録